

令和 8 年度 第 1 回学校運営協議会記録

1. 日時 令和 8 年 7 月 9 日（木） 14：30～16：00

2. 場所 本校会議室

3. 出席者 学校協議会委員（出席 6 名）敬称略

・牧野 浩二 ・戸堂 耕造 ・吉田 種司
・坂口 久和 ・澤田 勲男 ・川野 さゆり

学校長 ・福島 洋平

事務局 ・北出 眞理・上東 宣宏 ・刑部 元久・澤 真規 ・安里 佳世子・山口 千恵
・北埜 真也 ・杉本 博康 ・塩田 由佳 ・山本 大智 ・南川 星蘭

4. 議題 協議・報告事項

- （1）令和 7 年度学校評価及び令和 8 年度学校経営計画について
- （2）教科書採択・生徒在籍数・カリキュラムについて
- （3）進路状況について
- （4）生徒状況について
- （5）学校行事・部活動・生徒会活動について
- （6）PTA 活動について
- （7）探求・国際交流について
- （8）広報活動について

5. 議決事項 上記の協議事項（1）（2）については、全委員の賛成により承認された。

6. 協議概要 出席委員からの主な質問・意見等は以下のとおり。

【質問 1】

私立高校授業料無償化の影響について、特に入試を早期に終えたい中学生の増加をどのように捉えているか。

《回答》

公立高校と私立高校との年間費用には依然として大きな差がある。その実態を学校説明会等で丁寧に周知し、本校の魅力とともに発信していく。

【質問 2】

学校説明会に参加する生徒や保護者の状況について。

《回答》

外部会場で実施する説明会については概ね定員を満たしている。一方、12 月から 1 月に実施する説明会では参加者数が減少する傾向がみられる。

【質問 3】

公立高校ではなく私立高校を選択する生徒が増えている理由について。

《回答》

私立高校は広報活動、施設設備、授業料無償化などを効果的に発信している。本校としても広報活動を一層充実させるとともに、3年間で生徒の資質・能力を確実に伸ばす教育を推進し、魅力ある学校づくりに努めていく。

【主な意見】

- ・学校特色枠入試を有効に活用してはどうか。
- ・生徒数減少を見据え、未使用教室の活用や部活動運営など学習環境の整備を進める必要がある。
- ・公立高校としての特色や強みを明確にし、差別化を図ることが重要である。
- ・経済的負担の軽減や通学の利便性など、公立高校のメリットを積極的に発信すべきである。
- ・社会や時代の変化に応じて、柔軟な学校運営に努めてほしい。
- ・生徒に何を学ばせ、どのような力を育成するのかを明確にした教育活動が必要である。
- ・服装やマナー指導については、時代の変化を踏まえた適切な指導が求められる。
- ・進路指導においては、生徒・保護者に対してより詳細な情報提供を行うことが望ましい。